学校番号	410

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「家庭総合　自立・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等	生活学 Navi　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

単元ごとに様々な生活課題を示し、自分自身の課題として捉え、考えることで、課題解決能力が身につくようにする。
実習・実験などで体験的に学ぶことで理解を深めることができるようにする。
自分自身の現在および将来の生活に反映できるように、各単元のテーマを自分自身の課題と考え積極的に取り組むこと。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。
学習した知識や技術を活かし，家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。
家族や社会との共生を目指し，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の人生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活に充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し想像する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 発表 自己評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 発表 自己評価 定期考査　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作品 レポート 発表 自己評価 定期考査 実技テスト　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 発表 自己評価 定期考査 実技テスト　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	自分らしい人生をつくる	○家庭科で何を学び、どのような学習活動をしていくのかを知る。 ○各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ○生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、職業選択も見通す。 ○固定的な性別役割分業意識を見直し，男女が相互に協力して家庭を築き，家族関係をつくる必要性を学ぶ。 ○家族・家庭に関する基礎的な法律を学習し、現在の動きを知る。 ○家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 家庭科の学習内容に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 生涯発達の考え方に立ち、各ライフステージの特徴と課題に関心を持ち，青年期の課題について具体的に考えようとしている。 固定的な性別役割分業意識を見直し、多様な生き方を認め、積極的に家族・家庭と社会とのかかわりを考えようとしている。 b: これからの学習について考えを深め，生活上の課題を見いだし、表現している。自分の人生や進路について考えを深め，具体的にまとめている。 c: 生活上の課題を見いだす技術を身につけている。家族や家庭生活の在り方などについて検討するために必要な資料を収集・調査・検討することができる。 d: 家庭科の学習内容に関する知識を身につけている。 青年期の課題や現代家族の特徴、家庭機能の変化，家庭生活と社会とのかかわりについて理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
	衣生活をつくる	○被服のさまざまな役割を整理する。 ○被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い絵表示・サイズ表示などの意味が分かる。 ○正しい採寸方法を知り，自分のサイズが分かる。 ○被服製作の基本的事項を確認し、自分に合った被服の製作ができる。 ○布を使った伝統的な生活の工夫を知り，現代に生かす。 ○汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知る。 ○平面構成と立体構成の違いを学ぶ。 ○生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるようになる。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:衣生活に関心をもち、人間と被服，気候と被服のかかわりや衣生活の文化を考えようとしている。 被服材料、被服構成、縫製技術に関心をもち、被服製作に取り組もうとしている。 b: 各ライフステージに適した衣服の役割，適切な着装，衣生活の管理について考えを深めている。 被服材料の性能改善と着心地，安全に配慮した被服，衣生活の文化の伝承について考え，まとめたり、発表したりしている。 衣服の購入から廃棄，環境とのかかわりなど，衣食生活について考え、工夫している。 c: 健康と安全に配慮した被服計画を立てることができる。 充実した衣生活を営むための被服管理や被服製作の技術を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 実験レポート 製作物 自己評価 実技テスト 定期考査

2学期							d: 着装，被服材料，被服構成，被服製作，被服管理などについて科学的に理解している。 購入，活用，手入れ，保管，再利用，廃棄を考えた持続可能な衣生活の必要性を理解し、安全と環境に配慮した衣生活やその課題を認識し，知識を身につけている。	
	経済生活を営む	○高校卒業後について，経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 ○生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し，ライフステージごとのポイントを知る。 ○国際化・複雑化している経済社会と家計との関係を理解する。 ○消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解する。 ○キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え，契約や消費者信用，多重債務問題などを学習し，消費者として適切な判断ができるようにする。 ○消費者基本法を通して，消費者には権利と責任があることを理解する。 ○契約の重要性や消費者保護のしくみについて理解し、適切な行動ができるようにする。 ○大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え，持続可能な生活ができるようにする。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 生涯を見通した生活における経済計画・管理・生活設計について関心をもち，自立した消費者として行動しようとしている。 適切な情報の取捨選択や活用に関心をもち，消費行動における意思決定の重要性について考えようとしている。 b: 消費行動における意思決定について，主体的に考え，適切に判断することができる。 消費者問題について、その原因と対策について具体的な事例を通して考え、まとめたり、発表したりしている。 消費行動と環境とのかかわりについて課題を見いだし考え，工夫している。 c: 家庭の経済生活の諸課題の具体的な事例を収集・整理し，生涯を見通した経済計画を立てることができる。 自立した消費者として、適切な情報を取捨選択し、目的に応じて活用する技術を身につけている。 d:現在及び将来の消費生活と経済計画・管理・生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査

3学期	食生活をつくる	○日常の食生活を振り返る。 ○日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解する。 ○日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめる。 ○食生活の自立に必要な基本的な調理技術を科学的な視点から学び、日常食を作れるようになる。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a: 自分や家族の食生活、地域の食文化に関心をもち、食生活と健康のかかわりを考え，意欲的に食生活の改善・向上に努めようとしている。 食事調査や食品成分表を活用して栄養計算し，食生活の問題点を考えようとしている。 調理実習や実験などに，科学的な視点から，積極的に取り組もうとしている。 b: 現代の食生活と食事の意義について思考を深めている。 栄養と健康な食生活のかかわりについて考えている。 食事摂取基準や食品群別摂取量の目安について，家族や自分の食生活と関連させて考え，食生活の課題を調査してまとめている。 c: 主体的に食生活を営むために必要な情報を収集・整理し、検討することができる。 食品成分表を活用して、栄養計算をすることができる。 食生活をよりよくするための調理に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。 d: 栄養、食品、調理及び食品衛生など，食事と健康とのかかわりについて、科学的に理解している。 調理実習を通して、食生活の自立に必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 実験レポート 実習レポート 実技テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画　作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。